(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日本曹達株式会社<br>千葉工場 |

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ３ 1 | ５ 1 | ５ 2 | ５ 3 | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| |

（その四）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日本曹達株式会社<br>千葉工場 |

（３）自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評　価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる。（一部に課題がある。） | 削減目標を概ね達成できた。（一部に課題がある。） | 計画年度の目標を概ね達成できた。（一部に課題がある。） |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 住友化学株式会社<br>千葉工場 |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ５ ４ | ３ ２ | ５ ９ | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| 対策 ３（５９） |
| ①当千葉工場の高圧ポリエチレンのペレットサイロから排出される酢酸ビニルについて、 |
| サイロの排出ベント配管をボイラーの燃焼空気に接続し酢酸ビニルを無害化させている。 |
| 平成１９年１０月に工事が完成し、平成２０年２月より処理を開始した。 |
| ②高圧ポリエチレン工場の酢酸ビニルタンクのベントラインをフレアーラインに接続して |
| 焼却する工事が平成２４年２月に完成して、３月から使用開始した。 |
| ③高圧ポリエチレン工場のエチレン大気放出の削減（フレアーラインに接続して焼却） |
| 平成２３年１０月にフレアーラインに接続ノズルの設置が完了した。 |
| ④プロピレンタンク（半冷凍タンク）からのオフガス（プロピレン）の発生を抑制するため |
| 冷凍機１基を設置し、令和３年１０月から使用を開始した。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 住友化学株式会社<br>千葉工場 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。） |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 三井化学株式会社<br>市原工場 |

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 1 | 5 2 | 5 3 | 5 4 | 5 5 | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|---|
| |

（その四）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 三井化学株式会社<br>市原工場 |

（３） 自主的取組実績の評価

ア （１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 株式会社プライムポリマー<br>姉崎工場 |

(2)揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 3 | | | | | | | | | |

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(株)プライムポリマー姉崎工場では、基準年度以前から貯蔵タンクの排出口に凝縮器を設置し、排ガス中の揮発性有機化合物を冷却して凝縮液化回収する事で、大気排出量の抑制に努めている。また、VOC排出量は施設の稼働状況により多少の増減はあるが、平成25年度から平成27年度に掛けて、2つの製造施設を停止、さらに令和5年度に第一ポリプロピレン製造装置を停止したため、基準年度と比較してVOC排出量を100%削減している。

以上

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 株式会社プライムポリマー<br>姉崎工場 |

(3)自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

全社方針により,パウダー乾燥系のサイロから排出されるVOC削減対策は, 昨今の経営環境を踏まえ着手を延期していた(ヘプタン回収量 ; 約80,000kg／年)が、令和5年度に上記のサイロ設備を含む第一ポリプロピレン製造装置を停止したため、VOC排出量が削減された。

以上

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| 工場又は事業場の名称 | コスモ石油株式会社<br>千葉製油所 |
|---|---|

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ４ １ | ５ ２ | ５ ９ | | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

＜対策１（４１）＞

原油及び揮発油（ナフサ、ガソリン）タンクは、全て浮き屋根式（一部は内部浮き蓋付き）タンク構造であり、ＶＯＣ対策は完了している。

＜対策２（５２）＞

第１陸上出荷場（ローリー出荷場）及び第２陸上出荷場（タンク貨車出荷場）にて、ガソリン（ハイオク/レギュラー）積込時に発生するＶＯＣ対策として、ＶＯＣ回収装置の設置（第１：昭和６３年、第２：平成元年）を完了している。

＜対策３（５９）＞

夏季の期間、ＶＯＣ回収装置の冷却散水を行い、ＶＯＣ排出抑制に努めている。また、外気温３０度以上の場合、ガソリンタンクやナフサタンクのルーフ散水を行い、ＶＯＣの発生を抑制している。

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | コスモ石油株式会社<br>千葉製油所 |
|---|---|

（３） 自主的取組実績の評価

ア （１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|---|
| 基準年度（平成12年度）と比較し、揮発性有機化合物の取り扱い数量が大幅に増加しており、基準年度の排出量を達成するのは困難な状況である。 |
| 現行のＶＯＣ対策について、設備の維持管理などに努め、引き続き、ＶＯＣの発生を抑制する。 |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 大洋塩ビ株式会社<br>千葉工場 |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 9 | 3 1 | 5 1 | 5 9 | 9 9 | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| 【対策１】について |
| ・安定操業に努めました。 |
| |
| 【対策４】について |
| ・廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収しました。 |
| |
| 【対策５】について |
| ・タンク開放点検前に窒素で置換し、塩ビモノマーガスを回収しました。 |
| |
| |
| |

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 大洋塩ビ株式会社<br>千葉工場 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 大洋塩ビ株式会社<br>千葉工場 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 東洋スチレン株式会社<br>五井工場 |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 9 | 3 1 | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| 【対策１】について |
| ・生産工程からの発生（揮散）を減少させました。（安定操業に努めました） |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 東洋スチレン株式会社<br>五井工場 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 横山容器工業株式会社<br>千葉工場 |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ２ １ | ３ ３ | ９ １ | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 横山容器工業株式会社<br>千葉工場 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　⑴の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２２年度以前 | 平成２２年度 | 平成２５年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 富士電機株式会社<br>千葉工場 |

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 1 | 2 1 | 2 9 | | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|---|
| 《対策３》 |
| ・上塗り残塗料の転用（中塗り塗料へ流用し使用率の向上、事業所設備の補修塗装で流用） |
| ・廃シンナーの回収（リサイクル事業者に売却、売却先の開拓） |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | 富士電機株式会社<br>千葉工場 |
|---|---|

（３） 自主的取組実績の評価

ア （１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| 課題　①生産高増加に影響を受けないVOC排出削減策の実施 |
| 　　②製品品質の確保 |
| |
| 対策　①低VOC製品選択 |
| 　　②製品の品質健全性の検証 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 宮地エンジニアリング株式会社<br>千葉工場 |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １ １ | ２ １ | ２ ２ | ３ １ | ３ ４ | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 宮地エンジニアリング株式会社<br>千葉工場 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日鉄ドラム株式会社<br>千葉工場 |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ２　１ | ２　２ | ２　３ | ５　６ | ９　１ | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日鉄ドラム株式会社<br>千葉工場 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

**イ　課題と対策**

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 五井化成株式会社<br>本社工場 |

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | | 対策２ | | 対策３ | | 対策４ | | 対策５ | | 対策６ | | 対策７ | | 対策８ | | 対策９ | | 対策10 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 2 | 5 | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|---|
| 対策について |
| 平成19年5月、VOC吸着装置を設置。但し、現在長期休止中。 |
| 対策2の内容、重油吸着。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

（その四）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 五井化成株式会社<br>本社工場 |

（３） 自主的取組実績の評価

ア （１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| Ⓐ | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日産化学（株）<br>袖ケ浦工場五井製造所 |

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 2 | | | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

（その四）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日産化学（株）<br>袖ケ浦工場五井製造所 |

（３） 自主的取組実績の評価

ア （１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

特になし
令和7年度は計画年度の目標を達成できた。
令和8年度も目標達成見込み。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | ﾊﾞｲｵﾏｽ燃料供給有限責任事業組合 JBSL千葉ﾀｰﾐﾅﾙ |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ４ 1 | | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

バイオマス燃料の製造・供給は、国の「京都議定書目標達成計画」の実現のための施策として、石油連盟が2010年度からバイオETBEを年間84万KL程度導入し、国のＣＯ2排出削減に貢献するための事業です。バイオETBEの使用は、カーボンニュートラル効果により地球温暖化対策には寄与しますが、バイオETBEが揮発性有機化合物に該当するために内部浮屋根式タンクに貯蔵しＶＯＣ排出量を削減する等の対策を実施しています。

（その四）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | ﾊﾞｲｵﾏｽ燃料供給有限責任事業組合 JBSL千葉ﾀｰﾐﾅﾙ |

⑶ 自主的取組実績の評価

ア　⑴の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| (B) | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

ＶＯＣ排出量の削減対策として、内部浮屋根式タンクに貯蔵しています。令和７年度の実績においては、ＶＯＣの排出等の量が６４，０００ｋｇ/年度で目標達成率はB評価になりました。使用量の低下および船出荷の低下により多くＶＯＣの排出等の量が低下しました。計画と実績に大きな差異が発生しないよう調整します。

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

（その三）

| 工場又は事業場の名称 | 宇部丸善ポリエチレン株式会社<br>宇部丸善ポリエチレン株式会社 |
|---|---|

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | | 対策２ | | 対策３ | | 対策４ | | 対策５ | | 対策６ | | 対策７ | | 対策８ | | 対策９ | | 対策10 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ５ | ４ | ９ | １ | | | | | | | | | | | | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | 宇部丸善ポリエチレン株式会社<br>宇部丸善ポリエチレン株式会社 |
|---|---|

（３） 自主的取組実績の評価

ア （１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| (A) | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 不二ライトメタル株式会社<br>資材本部　東資材生産部 |

**（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策**

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ２　１ | ９　１ | | | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

| |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 不二ライトメタル株式会社<br>資材本部　東資材生産部 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　⑴の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| Ⓒ | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| 電着塗装にて IPA を使用しているが代替品がないため、切り替えることが難しい。 |
| また、使用量を減らすことになれば生産量にも影響が出るため、使用量を意図的に |
| 減らすこともできない。 |
| 対策として生産を行っていない場合は、電着槽に蓋をし揮発量を削減することを |
| 継続して行っていく。 |
| 中長期的な計画ですが、艶有り電着槽には蓋が無いため設置及び回収装置の設置の検討 |
| を実施します。 |
| また、代替品の調査・テストを引き続き継続します。 |
| |
| |
| |
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 不二ライトメタル株式会社<br>資材本部　東資材生産部 |

**⑶ 自主的取組実績の評価**

**ア　⑴の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価**

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| Ⓒ | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| 電着塗装にて IPA を使用しているが代替品がないため、切り替えることが難しい。 |
| また、使用量を減らすことになれば生産量にも影響が出るため、使用量を意図的に |
| 減らすこともできない。 |
| 対策として生産を行っていない場合は、電着槽に蓋をし揮発量を削減することを |
| 継続して行っていく。 |
| 中長期的な計画ですが、艶有り電着槽には蓋が無いため設置及び回収装置の設置の検討 |
| を実施します。 |
| また、代替品の調査・テストを引き続き継続します。 |
| |
| |
| |
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| 工場又は事業場の名称 | ダウ・東レ㈱<br>千葉工場 |
|---|---|

（2） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（1）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策1 | 対策2 | 対策3 | 対策4 | 対策5 | 対策6 | 対策7 | 対策8 | 対策9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 29 | 31 | 53 | 91 | | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| 29の補足 |
|---|
| ・揮発性有機化合物の仕込み、充填作業の密閉化を計り、VOC排出量を削減する様に対策をする。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

(その四)

| 工場又は事業場の名称 | ダウ・東レ㈱ 千葉工場 |
|---|---|

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。 | 削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 | 計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

基準年度と比べ揮発性有機溶剤の使用量は若干減少することが出来ましたが
計画していた削減目標に達成することができませんでした。引続き目標達成に向け
使用量の削減等の検討を行います。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | ＤＩＣグラフィックス株式会社<br>千葉工場 |

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 1 | 2 3 | 3 1 | 5 2 | 5 3 | 9 1 | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|---|
| |

（その四）

| 工場又は事業場の名称 | ＤＩＣグラフィックス株式会社<br>千葉工場 |
|---|---|

（３） 自主的取組実績の評価

ア （１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | ~~平成23年度以降~~ |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日本ホルマリン工業<br>株式会社　千葉工場 |

（２）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策１ | 対策２ | 対策３ | 対策４ | 対策５ | 対策６ | 対策７ | 対策８ | 対策９ | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2　1 | 2　3 | 3　1 | 4　1 | 5　2 | 9　1 | | | | |

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

| |
|---|
| |

（その四）

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | 日本ホルマリン工業株式会社　千葉工場 |

（３）　自主的取組実績の評価

ア　（１）の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成21年度以前 | 平成22年度 | 平成23年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| VOCの大気排出量の算出は、使用量に対して大気排出係数を掛けて算出している。 |
| そのため、大気排出係数の見直しの実施を検討し、より実態とあった数値とし、 |
| 大気排出量の削減につなげる対策を検討します。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がＣの場合は、必ず記載すること。

(その三)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | アズマックス株式会社<br>千葉工場 |

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

| 対策 1 | 対策 2 | 対策 3 | 対策 4 | 対策 5 | 対策 6 | 対策 7 | 対策 8 | 対策 9 | 対策10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 1 | 2 2 | 2 3 | 3 1 | | | | | | |

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(その四)

| | |
|---|---|
| 工場又は事業場の名称 | アズマックス株式会社<br>千葉工場 |

(3) 自主的取組実績の評価

ア　(1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | | |
|---|---|---|---|
| | 平成２１年度以前 | 平成２２年度 | 平成２３年度以降 |
| A | 目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。 | 削減目標を達成できた。 | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。 | 削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 目標年度の目標の達成に困難な課題がある。 | 削減目標の達成に困難な課題がある。 | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考　評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ　課題と対策

| |
|---|
| |

備考　この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。